

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	多機能型こども支援センターあいりす				職員数(児童数)4名 回答数4人 公表:令和 7年 2月 1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	—	面積などの設置基準は十分満たしています。	特にありません。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	—	指定基準の人数の職員を配置しています。	特にありません。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	—	安全に過ごせるように点検を行っています。	部分改修検討の余地があります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	—	快適かつ清潔な空間のため、毎日掃除・点検を実施しています。	特にありません。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	—	個別か集団か状況により構造化を行っています。	特にありません。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	—	朝礼で振り返りの後改善を行い、次の療育に繋げていきます。PDCAサイクルを常に実施し周知徹底を図ります。	情報共有は課題な為模索中です。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	—	今回のアンケートにて頂いたご意見を業務改善に反映させたいと思っています。	迅速に対応し改善に繋げています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	—	朝礼時に把握し、業務改善に繋げています。	継続します。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	—	外部講師による児童支援に関するコンサルテーションにて助言を頂き活かしています。	職員のスキルアップに繋げるよう継続していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	—	月に一度の施設内研修及び外部研修参加への推奨をしています。研修後、学んだ内容を報告書にまとめ、伝える機会を作っています。	継続します。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	—	計画を作成し、支援会議を実施しています。また、公表もしています。	継続します。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	—	児童発達管理責任者・管理者を中心に関係機関への聴き取りも実施しています。	保護者様から課題やご希望をしっかりと聴き取り、お答えしていきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	—	児童発達管理責任者・管理者を中心に職員間で支援会議を実施しています。こどもの最善の利益を考慮し検討しています。	継続します。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	—	職員間で情報提供を行い、計画に沿った支援を行っています。	継続します。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	—	検査結果、アセスメントシートの内容を共有し、日々の行動観察の記録を確認しています。	継続します。

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	—	放課後等デイサービスガイドラインに基づいた支援内容を踏まえ、こどもの支援に必要な項目や支援内容の設定を心がけています。	継続します。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	—	利用当日には、朝礼のなかで支援会議を実施して支援計画に基づいて行っています。	継続します。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	—	小集団療育のため、担当をローテーションし、活動プログラムを実施しています。	継続します。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	—	個別課題と集団課題を両方組み合わせで計画しています。	継続します。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	—	朝礼の際に支援会議を実施し、支援内容の確認をしています。	今後も継続し、気づいた点など共有していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	4	—	療育後に指導員間で内容の確認・引き継ぎ、振り返りを実施し共有しています。	今後も継続し、気づいた点など共有していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	—	担当者が記録をし、全職員確認を徹底し支援の検証・改善に繋げています。	今後も継続し、気づいた点など共有していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	—	6ヶ月に1回、児童発達支援会議を開催、支援計画の評価及び見直しを行い、新たな計画を作成、モニタリングを行っています。	今後も継続し、気づいた点など共有していきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせで支援を行っているか。	4	—	研修でガイドラインの内容に理解を深め、また、基本的活動を組み合わせで支援をしていきたいと思っています。	継続します。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	—	選択肢を提示し、自己選択の場面を作るなどの支援をしています。	継続します。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	—	児童発達管理責任者及び管理者が参加し、必要に応じてそのお子様のことを理解している担当職員が参加するようにしています。	継続します。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	—	医療的ケアの必要な子供が来た際、看護師が中心となり、関係機関と連携を図っております。	今後も継続し関係機関と連携して支援体制を整えていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	—	個別支援計画時の聞き取り、モニタリングでの聞き取りを実施して情報共有し、連携調整を行っています。	今後も聞き取りや関係機関連携を積極的に行っていきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	—	個別支援計画時の聞き取り、モニタリングでの聞き取りを実施して情報共有し、相互理解に努めています。	今後も聞き取りや関係機関連携を積極的に行っていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	—	必要に応じて学校や事業所を訪問し、会議等に参加し、より良い支援に役立てていただけるようにしています。	現在、対象児童はいませんが、今後も情報共有は行っていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	—	必要に応じて情報交換を実施しています。	継続します。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	—	保護者様には、当施設の療育の考えをご理解いただきますように、説明して参ります。	交流の機会があまり作れませんでした。が、今後、検討していきたいと考えています。

	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	4	—	管理者及び児童発達管理責任者が参加しています。	今後も積極的に参加します。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4	—	連絡帳(ハグ)で状況をお話しています。送迎時に様子などをお伝えしています。	今後も丁寧な説明を心がけていきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	—	研修を受け、必要な保護者様には実施しています。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	—	ご契約時に重要事項説明書等によりご説明しています。	今後も丁寧な説明を心がけていきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	—	支援会議や保護者様の意向を聴き取りながら、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、作成しています。	今後も意向を確認しながら、作成します。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	—	個別支援計画書を示しながら支援内容の説明を行い、同意を得ています。	今後も丁寧な説明を心がけていきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	—	支援会議や保護者様のご連絡の中でご相談に対応し、面談を行っています。	今後も内容に合った担当者が相談を受け丁寧な対応に努めていきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催することにより、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	—	懇談会を企画、主催する等保護者様への活動の提供等を行っています。	保護者様同士の交流する場が少なく、連携を取れるような機会を設け支援します。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	—	お子様の療育については、保護者様方々の連携が大切だと考えて、ご相談に迅速に対応しています。	管理者から職員に対して報告及び指導あり。今後も保護者様からのご相談には、随時対応していきたいと考えています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	—	会報ではありませんが、行事予定表を配布しています。	今後も活動内容や行事予定表、連絡体制等の情報をわかりやすく発信していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	—	施設内で撮影した写真や動画については、保護者様にご確認ご理解いただき、ご本人だけのものを渡しています。	個人情報の取り扱いには充分注意をするよう職員には徹底していますが、今後も気を付けます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	—	連絡帳(ハグ)で状況をお伝えしています。また、送迎時に様子などをお伝えしています。	今後も丁寧な説明を心がけていきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	—	年に何回か地域の清掃活動に参加しています。	保護者様には、当施設の療育の考えをご理解いただきますように、ご説明しています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	—	各マニュアルを策定しています。発生を想定した訓練も行っています。	保護者様への周知が充分ではありませんでしたので、今後丁寧にご説明いたします。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	—	業務継続計画(BCP)についてマニュアル策定しています。発生を想定した訓練も行っています。	保護者様への周知が充分ではありませんでしたので、今後丁寧にご説明いたします。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	—	密に保護者様や関係機関に確認し、お子様の状況の把握をしています。	看護師が状況を把握し、お子様の様子を確認しています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	—	主治医から食事箋を出してもらっています。	看護師が確認し、連携を取っていきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	—	安全管理を作成し、十分に気をつけた中で支援しています。研修や訓練なども行っています。	今後も安全管理に努めながら、継続していきます。

応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	—	安全計画について保護者様との連携を図っています。	今後も意向を確認しながら、取り組み内容についてご説明していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	—	ヒヤリハットを作成し、事例を共有し、対応策を話し合っています。	今後も継続していきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	—	マニュアルを策定しています。研修機会を確保し、適切な対応に努めています。	今後も継続していきます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	—	身体拘束マニュアルを作成し適切に対応しています。保護者様には、個別支援計画書に記載し、十分に充分ご理解いただくよう説明しています。書面により承諾いただいています。	今後も継続していきます。